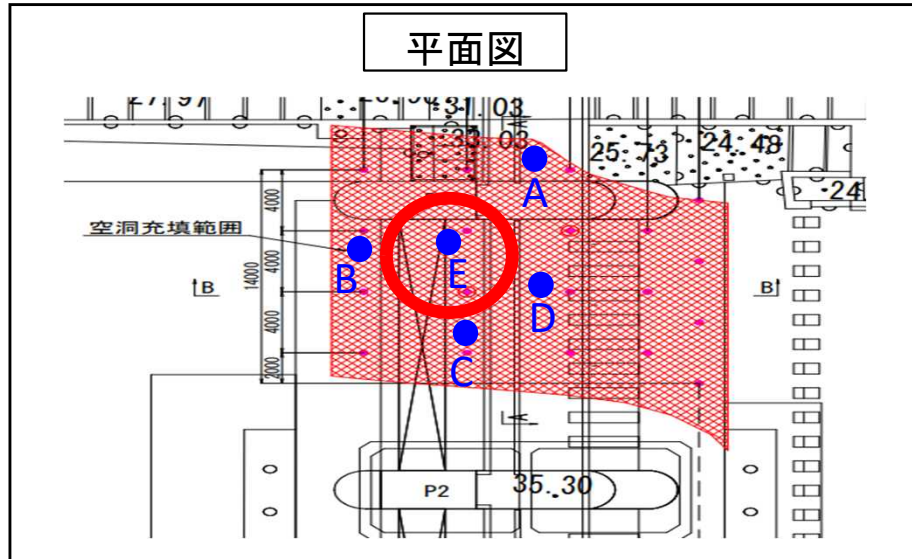
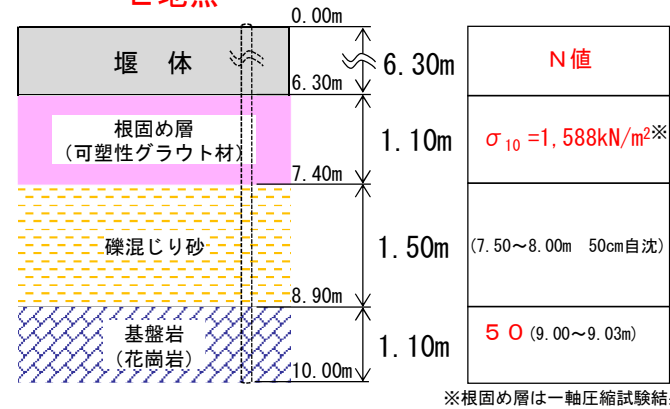




## 4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

## P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [E地点] (9月23日)

- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、E地点のチェックボーリングを実施。
- 洪水吐き堰体コンクリート直下に1.1m厚の根固め層、その下に1.5m厚の礫混じり砂、さらにその下に基盤岩を確認。
- 礫混じり砂層の三軸圧縮試験の結果、粘着力(C)=47kN/m<sup>2</sup>、内部摩擦角( $\phi$ )=40.4°を確認。
- 根固め工の支持力については、コア採取による一軸圧縮試験の結果、 $\sigma_{10}=1,588\text{kN/m}^2$ の強度を確認。  
(必要支持力：300kN/m<sup>2</sup>以上)

チェックボーリング状況  
E地点

深度8.00~8.90m区間において、採取できた試料は10cm程度。



根固め層の下に1.50m (深度7.40m~8.90m) 厚のN値0のきわめて緩い礫混じり砂を確認。モンケン(63.5kg)をのせた段階で50cm自沈。礫径は5mm程度。



礫混じり砂層の下にN値50以上の基盤岩(花崗岩)を確認。

# 4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [E地点] (9月23日)

## ボーリング柱状図

ボーリング名	No. E	調査位置	愛知県豊田市室町地先			北緯
発注機関				調査期間	令和4年9月23日～4年9月23日	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	10.00m	角	180° 上	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 90°
総掘進長		度	下 0°			

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取			室内試験 ( 月 日)	掘進 月 日		
										10cm毎の 打撃回数			N 値				深 度 m	深 度 m	深 度 m			採取 方法	
										0 5 10	10 20 30	20 30	0 10 20 30 40 50 60										
1				コンクリート																			
6	6.30	6.30																					
7	1.10	7.40		改良体																			
8				礫混じり砂	灰	非常に緩い		砂は粗砂を主体とする。 φ5～10mm程度の礫を混入する。		7.50	0	0	0.0										
9	1.50	8.90		花崗岩	灰茶			割れ目多く、薄く粘土、細砂を挟む。 CL級相当。		8.00	50	50											
10	1.10	10.00								9.00	60	60	180.0										
										9.10	10	10											